

福島県三島町
広報

平成25年12月6日発行
(毎月第1金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2013
December

12

No.249

霊峰志津倉
巨木の森
樹齢四百年のブナと出会う。





大石田地内の桜峠植栽地に桐の苗木を植えた皆さん

参加型イベント開催 苗木植栽や工芸体験

**50本の桐苗木を植栽
桐下駄の鼻緒付けも体験**

木(森)に由来する伝統文化継承事業「未来につなごう!会津桐」は11月16日、当町で開催され、県内から約50人が参加しました。福島県の主催、会津桐振興連絡協議会の後援で行われました。

**新しい発想で
桐産業の振興目指す**

桐は当町の特産で、良質なタンス材として、古くから大切に育てられてきました。しかし、価格の低下や農林業の後継者不足などにより、その植栽数は年々減少しています。同時に桐産業も厳しい状況が続いています。

役場前での開会式後、大石田地内の桜峠植栽地において、桐の苗木の植栽を行いました。参加者は地域の桐栽培者の指導を受け、一人一本、計50本の苗木を丁寧に植えました。

続いて町民センターに移動し、昼食後、桐下駄の鼻緒付け体験を行いました。参加者は二瓶桐材店の二瓶幸子さん(川井)に習い、鼻緒を付けて下駄を完成させ、参加記念に持ち帰りました。

そのような中でも、産学官連携により会津桐タンス(桐)が製作した、桐の押し出し式茶筒「茶綾」がグッドデザイン賞を受賞するなど、明るいニュースもありました。また伝統家具「下三大洋」は、県ブランド認証産品として高い評価を受け、確かな技術と品質が認められています。



二瓶幸子さん(中央)の指導で実施した桐下駄の鼻緒付け体験

「桐」を必ず未来へ

12月 目次

- 2 志津倉山でトレッキング大会
- 3 「桐」を必ず未来へ
苗木植栽や工芸体験
- 4 **七つの古里に
感動と希望**
第25回ふくしま駅伝
- 6 TownNews7 みしまの出来事
郷土料理体験「おばあちゃんの味」
／年に一度のお楽しみ弁当／味噌、きな粉づくりを体験／法被を着て防火意識新たに／ふるさと三島を思う／漆でつなげる工芸体験
／新たな世帯用住宅の建設を予定
- 8 楽しくバレー
- 9 町民記者通信
にぎやかに収穫祭、大石田地区のオーナー制／刈上げ祭りの餅拾い、川井地区／新そば味わう収穫祭、宮下地区／歴史ある行事「虫供養」、早戸地区
- 10 日本赤十字社から
金色有功章
三島町赤十字奉仕団
生涯学習表彰
標語コンクール表彰
- 11 保健・子育て・健康づくり予定／心配ごと相談／地域ふれあいサロン予定／県立宮下病院から／宮下病院クリスマスコンサート
- 12 民話 第33話 笠地蔵
早戸でウォーキング大会
- 13 巡見使の道を歩く
こんにちは。協力隊です。Vol.2
- 14 自動車の登録(移転・変更・抹消)／放送大学4月入学生募集／会津坂下警察署から／ご寄附／12月の納税／町の人口と世帯
- 15 正しい操作で安全除雪／会津地域若者サポートステーション／大谷地区にLED街路灯、宝くじ助成金で整備
- 16 映画 **最後の忠臣蔵**
12月15日、山びこで上映
編集後記

ブナの森が広がる志津倉山のトレッキングコース。急坂もあるので足元に注意が必要



紅葉のブナ林、ふかふかの落ち葉が心地よい

間方・志津倉山でトレッキング大会

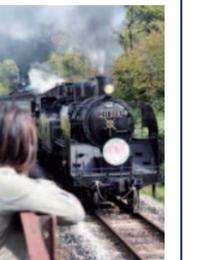
志津倉山の豊かな森を歩くかしゃ猫ロードトレッキング大会は11月2日に開催され、県内外から訪れた約50人が参加しました。間方地区の皆さんでつくる「美女婦の里まがた」の主催、町観光協会の共催で昨年に続き2回目。登山口からブナ林を巡るコースをゆっくりと歩きました。同地区の皆さんが同行し、安全を確認しながら、推定樹齢400年のブナ(表紙)や、栃、沢グリの巨木、かしゃ猫伝説が伝わる「猫啼き岩」など、見所を案内しました。下山後、集会所で山里料理の昼食会を開き、かしゃ猫伝説の紙芝居も披露され、交流を深めました。



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,872人(10月1日現在)





1_力走する板橋瑞樹くん(8区) 2_避難生活が続く葛尾村のために走った松本尚太さん(13区) 3_元気な走りを見せた栗田一路くん(7区) 4_故障を乗り越え走り抜いた渡邊岳之さん(4区) 5_沿道の声援を受け頑張った五十嵐輝さん(9区) 6_父の古里・昭和村枠で出場した舟木裕大くん(12区) 7_念願の舞台上で区間賞に輝いた三瓶佳純さん(1区) 8_実力を発揮し区間賞を獲得した秋元愛さん(11区) 9_エース区間でねばりの走りを見せた秋元正人さん(10区) 10_主将としてアンカーを務めた北館亮さん(16区) 11_中学生エース区間で大健闘した遠藤健次くん(3区) 12_夢だった大会で力を出し切った五ノ井浩さん(6区)、精いっぱい走りタスキをつないだ中丸凌太くん(後ろ・5区) 13_初めての大会で懸命に走った五ノ井優花さん(15区)

村の部区間賞を獲得した三瓶佳純さん、秋元愛さんを中心に健闘を喜び合った合同チーム「希望ふくしま」の皆さん

第25回ふくしま駅伝は11月17日、白河市から福島市まで中通りを縦断する16区間、95・1kmのコースで開催されました。当町は特別措置による合同チームの一員として14年ぶりに参加。板橋瑞樹くん(三島中2年)が郡山総合体育館前から郡山北工業高校までの8区、北館亮さん(役場)が福島大学入口から福島県庁前ゴールまでの16区を走りました。

選手団と実行委員など約80人の体制で大会に臨み、

七つの古里に感動と希望

合同チーム「希望ふくしま」総合34位相当(参考記録)
 当町から板橋瑞樹くん(三島中2年・滝原)、北館亮さん(役場・西方)が出場
 三瓶佳純さん(湯川)、秋元愛さん(川内)が村の部区間賞

感動、喜び、悔しさ、感謝……。さまざまな思いが入り交じったゴールを迎え、三島、金山、昭和、湯川、檜枝岐、川内、葛尾の7町村が合同チームを結成して挑んだふくしま駅伝。選手たちは多くの方々の応援を受け、感謝と希望を胸に精いっぱい走り抜きました。力を発揮した選手、思い通りに走れなかった選手、それぞれのゴールは、次の目標に向かってのスタートへとつながりました。

当町からも事務局のほか、スポーツ推進委員7人が選手をサポートしました。レースは1区三瓶佳純さん(湯川)が村の部区間賞の快走を見せ、総合11位で2区平野源太くん(檜枝岐)につなぎました。平野くんも高校生エースがそろった区間で大健闘し、続く3区遠藤健次くん(川内)も設定通りの走りで20位前半をキープしました。タスキは7区の10分繰り上げスタートで途切れましたが、実力のある11区秋元愛さん(川

内)が村の部区間賞を獲得するなど、各選手が全力で走り切り、53チーム中34位相当でゴールしました。8区板橋くんは「最後まで強気で走ることができました。来年は区間賞を取りたいです」と次の目標を掲げました。またゴールテープを切った16区北館さんは「自分の走りに納得できず悔しいですが、チームみんながよくタスキをつないでくれました。ここからまたスタートです」と再挑戦を誓いました。

7町村合同チーム「希望ふくしま」の大会結果

区間・距離	選手	年齢・学年・所属等	町村	区間記録	区間順位
1区 4.0km	三瓶佳純	葵高3年	湯川	13' 42"	11位 ◎村の部1位
2区 8.2km	平野源太	会津学鳳高3年	檜枝岐	27' 04"	29位
3区 5.8km	遠藤健次	川内中2年	川内	19' 56"	29位
4区 7.3km	渡邊岳之	26歳・JA会津みどり	湯川	26' 04"	38位
5区 6.7km	中丸凌太	川口高2年	金山	23' 48"	29位
6区 8.3km	五ノ井浩	23歳・秋田県立大4年	金山	28' 55"	32位
7区 5.2km	栗田一路	金山中3年	金山	18' 13"	31位
8区 4.1km	板橋瑞樹	三島中2年	三島	15' 02"	31位
9区 3.0km	五十嵐輝	湯川中2年	湯川	13' 23"	45位
10区 9.3km	秋元正人	33歳	川内	32' 54"	44位
11区 3.9km	秋元愛	25歳・ヤギヌマ印刷	川内	14' 08"	5位 ◎村の部1位
12区 7.0km	舟木裕大	福島東高3年	昭和	23' 46"	22位
13区 4.8km	松本尚太	22歳・国際武道大4年	葛尾	17' 51"	38位
14区 5.7km	穴澤進	40歳・檜枝岐村役場	檜枝岐	21' 01"	43位
15区 3.4km	五ノ井優花	川口高2年	金山	15' 26"	50位
16区 8.4km	北館亮	34歳・三島町役場	三島	31' 00"	48位
全長 95.1km		5' 42' 13"			総合34位相当(※合同チームのため参考記録)

多くの支えに感謝 ぜひ次回も出場を

小桧山 淳 監督
(川口高教諭)



今回の出場に際し、多くの皆さまに応援していただき本当にありがとうございました。7町村での合同練習のほか、三島と金山の選手は週1回の合同練習を行い、切磋琢磨する練習風景が毎回見られました。選手に会った際には、どうぞねぎらいの言葉をかけていただけると幸いです。これを機に、スポーツ振興の輪が広がり、次回も地域ぐるみで出場できることを願っています。

**法被を着て防火意識新たに
三島小少年消防クラブに贈呈**

三島小少年消防クラブへの法被贈呈式は11月22日、同校で行われました。同消防クラブは、子どもたちが火事を起こさないよう自ら気をつけ、地域に火災予防を呼び掛けるために今年4月に結成されました。贈呈式では二瓶町長から菅家諒南くん(6年)に法被が手渡され、続いて坂内遥人くん(6年)が誓いの言葉を述べました。また大八木健弘会津坂下消防署長、長谷川誠町消防団長が祝辞を述べました。



消防法被を着た三島小5年生・6年生の児童たち



当町出身者が集い、親睦を深めた首都圏三島会総会

**ふるさと三島を思う。
首都圏三島会 第37回総会**

首都圏在住の当町出身者の会、首都圏三島会の第37回総会は11月9日、東天紅上野店(東京都台東区)で開かれ、会員40人が出席しました。当町からは二瓶町長、担当職員のほか町議会議員が全員出席しました。二瓶町長から渡部保男会長(高清水出身)に補助金が手渡され、会の発展を祈りました。総会後に懇親会を開き、再会を喜び語り合いました。最後に恒例の盆踊りを行い、ふるさと三島を懐かしみました。

**漆でつなげる工芸を体験
山びこ「荒屋敷遺跡展」関連企画**

荒屋敷遺跡展は11月2日から24日まで、交流センター山びこで開催されました。漆製品が出土していることにちなみ、11月9日には「漆の糸玉」キーホルダー作り体験が行われました。いらはらみつみさん(漆造形作家)に習い、糸玉を赤漆で固めてキーホルダーを作りました。また11月16日には、佐々木由香さん(㈱パレオ・ラボ)、小松順太郎さん(文化財専門委員)の講話を聞き、遺跡発掘の知識を深めました。



漆の糸玉キーホルダー作りを体験した皆さん



町営住宅の具体的な設計案を検討した部会の皆さん

**新たな世帯用住宅の建設を予定
町営住宅建設部会の整備案**

町営住宅建設部会は11月28日に行われ、一般の方も交えて話し合いました。部会は昨年度から定期的に行われ、住宅整備や宅地造成などについて検討を重ねてきました。これまでに、まず新たな世帯用住宅を建設することを決め、その戸数や間取りなど具体的な検討に入りました。来年度に建設工事着工、完成を予定しています。また今年度は、アンケート調査を行った上で、住環境に関する計画を策定します。

**古里の味、受け継いで。
郷土料理体験「おばあちゃんの味」**



三島小5年生の児童たちが、老人クラブ女性部の皆さんに郷土料理を習った。孫よりも年下の子どもたちとの交流に、女性部の皆さんにも笑顔が見られ、楽しい料理と昼食会の時間を一緒に過ごした。餅は児童たちが栽培を体験した餅米を使用した



三島小児童たちが郷土料理を体験する恒例の「おばあちゃんの味」は11月26日、町民センターで行われ、5年生10人が参加しました。老人クラブ女性部の皆さんに習い、3種の餅、もちのこ、大根の味噌おでん、ほうれん草のじゅうねん和え、切りこんぶ、大根おろしを作りました。出来上がると昼食会を開き、5年生のほか3年生と1年生も一緒に味わいました。児童たちにとっては、普段の食卓とは材料も味も違うようでしたが、元々あった家庭の味をみんなで味わう機会となりました。

**年の一度のお楽しみ弁当
高齢者へ届ける「ひまわり会」**

宮下地区の女性ボランティア「ひまわり会」は11月29日、同地区の81歳以上の方々に弁当を届けました。同会は町社会福祉協議会の助成を受けてこの活動を行っており、平成2年の結成から毎年欠かさず、高齢者の楽しみになるようにと、弁当の宅配を続けてきました。バランスの取れたおかずとともに、支え合いの真心を弁当に詰めて、自宅で待つ対象者44人に手渡しました。



弁当を詰める「ひまわり会」の皆さん



森の校舎カタクリでの田舎体験を楽しんだ皆さん

**味噌、きな粉づくりを体験
町観光協会の田舎暮らし体験ツアー**

今年度の5回目の田舎暮らし体験ツアーは11月23日・24日に行われ、県内外から15人が参加しました。今回は森の校舎カタクリで参加者を受け入れ、味噌づくりや、きな粉づくり、そば打ち体験などを実施。煮た大豆をつぶして、塩・麴と混ぜる作業や、石臼できな粉をひく作業など、昔ながらの方法で行いました。参加者からは「気持ちの良い町だ」「皆さんと触れ合えたことが楽しかった」などの声が寄せられました。

町民記者通信



にぎやかに収穫祭 大石田地区のオーナー制

文・写真 町民記者 渡部 和さん (大石田)



大石田の福一満そば・じゃがいもオーナーの収穫祭は11月10日、オーナー22名を迎えて開かれました。そば打ち、餅つき、山ブドウ蔓のストラップ作りなどを楽しんだ後は、「餅・そばのごっつお」。収穫したばかりの野菜を使った郷土料理や打ちたてのそば、つきたての餅に舌鼓を打ちながら、そば口上や昔話を楽しみ、最後は盆踊りでにぎやかに締めくくりました。オーナーの方々からは「震災で避難中だが楽しいひと時を過ごせた」「次回は地区内を歩いてみたい」などの声が寄せられました。

刈上げ祭りの餅拾い 川井地区

文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)

11月2日は旧暦の9月29日にあたり、年中行事では仕舞の節供と呼ばれ、秋の穫り入れを祝う日で、収穫したばかりの新米で餅をつき、家族そろって収穫をことほぎ感謝する日とされ、この日について食べる餅は、一年中で一番おいしいといわれています。翌3日は刈上げ祭で、川井地区では早朝に短冊に切ったのし餅を産土神や雷神、愛宕神などの祠にお供えして参拝する風習が、およそ400年前から続いています。今でも地区の子どもたちには、お供え餅を拾い歩く「餅拾い」の楽しみが残されています。



新そば味わう収穫祭 宮下地区

文・写真 町民記者 小島 純さん (宮下)



みやした蕎麦と豆腐の会(佐久間宗一会長)は11月15日、収穫祭を開き、宮下・荒屋敷地区が取り組む「そばの花でいっばいの景観づくり運動」の応援団の皆さんなどが参加しました。そばは同応援団の協力で、宮下の遊休農地で栽培され、集落の景観形成にも役立っています。収穫祭では、打ちたての新そばと手作り豆腐が振る舞われ、自ら栽培に協力した格別の味に舌鼓を打ちました。

歴史ある行事「虫供養」 早戸地区

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん (早戸)

11月10日、早戸地区で虫供養が行われました。前日から降り続いた雨も上がり、午後1時に住民の方々が生活改善センターに集まりました。同地区の佐久間弥一さんが鐘をたたきながら、みんなで虫供養塔まで歩きました。手には菊の花を持っています。虫供養塔にお参りして、駆除された虫の魂が安らかでありますようにと祈りました。お参りの後、五十嵐和吉区長から、お護符が配られました。歴史のあるこの行事を末永く続けていきたいと、参列者全員が思っているようでした。



恒例のビーチバレーボール大会は10月29日・30日に開催されました。地区で集まったチームや、友人同士、職場仲間のチームなど計12チームが参加し、笑顔の絶えない試合を繰り広げました。

楽しくバレー

【大会結果】
◆1部(年齢制限あり、7チーム参加) ①オール桑原 ②M・P・L ③NBC、パリストタ▼最優秀選手 菅家美紀さん▼優秀選手 大竹夏奈さん、二瓶和恵さん、小柴奈穂美さん
◆2部(制限なし、5チーム参加) ①Sixdieu ②ミニッこ ③桐寿苑スパーズ▼最優秀選手 栗城浩美さん▼優秀選手 五十嵐孝さん、児山恵子さん



1部優勝のオール桑原の皆さん



2部優勝のSixdieuの皆さん

認知症を理解しよう

舟木 智恵 看護師

超高齢化社会を迎え、三島町も例外ではなく、高齢者が高齢者を介護する、という状況が珍しくありません。宮下病院の入院患者様も、100歳を超えるご長寿さんが増えてきました。中でも、認知症の方を介護するご家族の苦勞は計り知れません。そこで今回は、「認知症の症状」についてお話ししたいと思います。

認知症は、脳細胞が破壊されることによって起こる「中核症状」と呼ばれる、「新しいことを覚えられない」「今日の日付や季節が分からなくなる」「誰と話しているのか分からなくなる」「計画を立てられなくなる」「その場の状況が読めない」といったことが起こり、その中核症状に性格や環境、人間関係など、さまざまな要因がからみあい、「周辺症状」と呼ばれる、うつ状態や妄想、興奮などの心理面・行動面の症状が起こります。

認知症の方は「やらない」のではなく「やれない」のであり、家族や周囲の方は「やれるのにやらない」と感じていることが時折見受けられます。期待と現実のズレは、お互いのすれ違いと苦惱を生みます。

自尊心を傷つけず、本人の持つ世界に合わせ、「こだわりを受け入れる」「習慣や役割を続けられるように接する」といった対応が大切です。

苦悩を感じたら、周囲に助けを求めましょう。ケアマネージャーやヘルパーはもちろんのこと、宮下病院も積極的にサポートさせていただきます。

宮下病院 クリスマスコンサート

毎年恒例となりました岩沢麻実さんのフルーツコンサートです。優しい音色をお楽しみください。

- ◆日時 12月20日(金)
10:00～ 宮下病院 1階 外来受付ロビー
11:00～ 宮下病院 2階 病棟
- ◆演奏者 岩沢麻実さん
(フルーツ奏者・音楽療法士)
- ◆演奏曲 クリスマスソング ほか
- ◎県立宮下病院 ☎ (52) 2321



保健・子育て・健康づくり

☎町民課 ☎ (48) 5565



実施予定

- **4カ月児健診**
12月10日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院
1月21日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院
- **3歳児健診**
1月15日(水) 13:00～ 柳津町・銀山荘
- **足腰げんき教室**
▶室内運動編
12月11日(水) 13:30～ 町民センター
1月16日(水) 13:30～ 町民センター
▶水中運動編
12月18日(水) 10:00 町民センター集合
(リステル猪苗代へ送迎)
参加費 2,000円
※事前申し込み必要
1月22日(水) 13:00 町民センター集合
(河東学園プールへ送迎)

- **機能訓練会**
1月8日(水) 14:00～ 福寿草
- **心の健康相談** (※事前申し込み必要)
12月19日(水) 13:30～ 福寿草
【申込先】町民課 ☎ (48) 5565

※この実施予定は、別に配布しました平成25年度健康づくり年間予定表(ピンク色の一枚刷り)から転記しています。

心配ごと相談(人権相談)

12月12日(水) 9:30～11:30 福寿草

◎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

地域ふれあいサロン

- ◆大石田友遊サロン
12月20日(金) 10:00～ 大石田生活改善センター
- ◆浅岐あったかサロン
12月21日(土) 10:00～ 浅岐集会所

◎町社会福祉協議会 ☎ (52) 3344

20年にわたる多大な貢献 日本赤十字社から金色有功章



金色有功章を受け、長年の活動を振り返る三島町赤十字奉仕団の栗城清子委員長

三島町赤十字奉仕団は、活動継続20年を迎え、赤十字事業の進展に尽くした功績と、活動内容の充実が認められ、日本赤十字社から表彰されました。表彰式は10月15日、ビッグパレットふくしま(郡山市)で開催された「赤十字ボランティアのつどい」の席上で行われ、同奉仕団の栗城清子委員長に金色有功章が手渡され

ました。同奉仕団は49人の団員で構成され、定期的なクリーン作業や福祉施設の環境整備、一円玉募金、献血のサポートなどをを行っています。さらに災害時の炊き出し訓練、救命訓練なども行い、赤十字の助け合いの精神に基づき、町社会福祉協議会と連携して活動しています。

三島町赤十字奉仕団

豊かな表現 学ぶ児童生徒

生涯学習表彰・標語コンクール表彰

生涯学習表彰式は11月3日、三島小体育館で行われ、各種コンクールで受賞した児童生徒を表彰しました。また同日、三島小まつりが開催され、児童たちの学芸発表などが行われました。町民センターでは文化祭が開催され、書や生け花などの作品が展示されたほか、それらの体験も行われました。また屋外では農産物の直売や、消防車の体験乗車などが行われました。また三島中生徒の合唱や、一般参加者による演芸会が行われ、日ごろの練習の成果を披露しました。



世界児童画展入選
坂内悠吏くん(小4)



世界児童画展入選
社明運動標語コンクール特選
渡辺梨花さん(小6)



ドコモ未来ミュージアム絵画入選
齋藤樹くん(小5)



県読書感想文コンクール準特選
菅家瑞稀くん(中1)



社明運動標語コンクール特選
細堀玄くん(小5)



社明運動標語コンクール特選
小柴美蘭乃さん(中2)



社明運動標語コンクール特選
佐藤果怜さん(中3)



交通安全標語コンクール特選
鈴木彩月さん(小4)



交通安全標語コンクール特選
青木亜友さん(中2)



文・写真 町民記者 角田伊一さん (川井)

巡見使の道歩く

川井、大登、大谷間の歴史街道探訪



只見川電源流域振興協議会主催の「奥会津大学」は11月17日に当町で行われ、歴史街道探訪が実施されました。昨年の駒啼峠、松原丸山城跡に続き、今年は川井、大登經由の大谷街道を歩きました。この街道は若松を基点に、坂下、滝谷、大谷、野尻、只見、六十里越峠を経由して、会津藩で預かり管理した越後魚沼郡七万石の代官役所、小千谷陣屋に至る三十里余りの幹線道路で、江戸時代には藩役人や飛脚、公用荷や商荷とともに、多くの旅人が往来し、「坂下通り六十里越街道」と呼ばれていました。またこの街道は巡見使が通行した道でもあり、馬頭観音像や道標などの石碑群、一里塚なども往時のままで、参加した歴史好きの方々から絶賛の声が寄せられました。

民話



第33話 笠地蔵

元話 二瓶アツ子さん (大谷)
文章 五十嵐七重さん (西方)

むかしむかし、あるところに爺さんと婆さんが笠を作って毎日暮らしておったそうだ。

あるとき、

「婆さんや、笠もだいぶたまったが、売りさ行ってこべえ」

ちゅつたど。

「おお、おお、そうしてくんつあれ。気つけて行ってきてくんつえよ」

婆さん、家の角まで見送ったど。

「笠やあーれ笠。笠やあーれ笠」

爺さん、しゃげんでじなつても売れねえ。

「やれやれ、大ごとだ。なんでだべ。一つも売れねえ」

爺さんは、少しも売れないが、家に戻ることにしたど。

ポツポツ、ポツポツ、雨があたってきた。

「やれやれ、雨じゃ。今日はとんな日だなあ」

ぼそぼそ言いながら、村はずれまで来たら、地蔵様が頭から濡れていさつたど。

「やれやれ、地蔵様、寒かろう」

と売れなかつた笠全部、地蔵様にかぶせて、

「はあ、これでよがんべなあ、地蔵様よ。まんにやあせでなつし」

なんちゅつて、

「婆さんや、ただ今帰ったよ。今日は笠が売れなかつたが、地蔵様さみんなかぶせてきたよ」

ちゅつたら、婆さんも、

「おお、それは良かった。雨降りになったべし、雪になるに相違ねえわあ。地蔵様、喜んでらつたべなあ。さてさて、明日は年取りだが、おらたちは芋でも食つて年取りしんべなあ」

「なあやれ、それがよがんべえ」

二人は仲良く寝たどなあ。

したらば、夜中の事、

じじの家は、どこだんべえ。

ぼぼの家は、どこだんべえ。

大勢の音がしたから、爺さんと婆さんは、おつかなくてなあ。ひとすくみになって寝ていだど。

朝なつて、そろーつと戸を開けたら、いやーたまげた、たまげた。

餅だべえ、魚だべえ、大判小判がいっぱい入りこんで、爺さんと婆さんはいい年を取り、いい正月をしたそうだ。

人様には、いいことをすれば、自分にもいいことが返ってくるちゅつことだ。

ざつとむかし、栄え申した。

Vol.2 初めての雪国体験

11月11日、三島町で初雪が降りました。「こんなに早く降るのか」というのが率直な感想でした。

私の地元、埼玉では雪はひと冬に降っても数回。初雪はもつと遅いですし、積もることはほとんどありません。雪が降れば電車が止まるので、学校が休みにならないかとひそかに期待してほしいなどよく思っていました。雪が降ることは、それほど非日常的な出来事で、まるでイベントのような感覚でした。

しかし、こちらに来ればそのような感覚ではいられません。雪が降ることが日常であり、雪と共存することが当たり前です。日々の除雪、雪道での車の運転、スタッドレスタイヤへの履き替えなど、雪の降らない

こんにちは。協力隊です。

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎



地域に住んでいた私にとっては、それら全てが初めての体験です。先日の初雪も、地元の人には、なんてことのない雪だったのだろうと思います。が、私にとっては年に一度の大雪レベルに感じられました。これから本格的に雪が降り、テレビや写真で見かけたことのないような雪を経験することになると思っています。その雪に耐えて生活できるように、まずは「雪が降ることは日常」という感覚を持てるようにしたいと思っています。

また町の人から「東京にいと雪が降らないから季節感がなくなる」という話を聞きました。四季がはっきりしている日本の中で

も、地域によってこのような感覚の違いが生まれるのは驚きでした。また、ある研修で「本物の日本は農山村である」という言葉を聞きました。これは古くから受け継がれてきた田舎の暮らしや、その景色・文化こそが本物の日本であるという趣旨の発言でした。

今はまだ毎日が初体験でちよつと大変ですが、三島町での生活の中で、新しいことにも挑戦しながら、少しでも山村の魅力を知り、それをほかの方々にも伝えることができればと思います。

早戸でウォーキング大会

古民家、神々の道を巡る

文・写真 町民記者 五十嵐信一さん (早戸)



11月4日、早戸温泉つるの湯発着のコースでウォーキング大会が開催されました(会津歩こう会主催)。会津若松市の仮設住宅に住む大熊町の方々18人を含む約120人が参加しました。小雨の降る中、午前10時にスタートして、金山町三更地区の古民家や、早戸地区の神々の道を巡りました。ゴール後には、きのこ汁が振る舞われたほか、入湯券やカレンダーなどの景品が当たる抽選会も行われました。早戸地区と三更地区の住民の方々、佐久間建設工業(株)の従業員の方々がスタッフとして協力しました。



正しい操作で安全除雪

毎年、雪の季節になると、除雪機による事故が多発しています。除雪機を使う際は、次の点に注意して操作しましょう。

①作業を行う前に、必ず取扱説明書をよく読んで、正しい使い方を理解しましょう。

- ②雪詰まりを取り除くときは必ずエンジン停止し、回転部が停止してから、雪かき棒を使って行いましょう。
- ③回転部に近づくときは必ずエンジン停止し、回転部が完全に止まったことを確認しましょう。
- ④後進時は転倒したり挟まれたりしないよう、足元や後方に十分注意しましょう。
- ⑤除雪作業中は、雪を飛ばす方向に、人や車、建物などがいないことを確認しましょう。また除雪機の周りには絶対に人を近づけないようにしましょう。
- ⑥安全装置が正しく作動しない状態では使用してはいけません。また安全装置を意図的に解除したり、故障したままで使用しないようにしましょう。

☎(株)日本農業機械工業会
除雪機安全協議会
03(3433)0415
http://www.jfmma.or.jp

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(10月)

0件

なりすまし詐欺 被害防止のために

警察署では「なりすまし詐欺」などの被害を防止するために、各金融機関に対し、

◎高額の振り込みをするお客さま

◎高額の現金を持ち帰るお客さま

への声掛けのほか、最寄りの警察署への連絡を求めています。金融機関の窓口は、被害を防ぐ「最後の砦」となる場所ですので、皆さまのご理解をお願いします。

次のような電話やダイレクトメールには要注意です。

- ▶お金が必要だと言う息子や孫
- ▶お金の手続きを求めてくる警察官、銀行協会職員、役場職員など
- ▶必ず儲かると言う投資会社、情報屋など

このような話があったときは、一人で対応せず、すぐに家族や知人に相談し、警察署に通報してください。

街頭犯罪発生件数(1月~10月)

区分	管内	三島町
強盗	1	
空き巣ねらい	2	
忍び込み	4	
事務所荒らし		
出店荒らし	1	
自動車盗	1	
オートバイ盗	2	
自転車盗	15	
自販機ねらい	2	1
車上ねらい	2	
ひったくり		
部品ねらい	1	
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	31	1
全刑法犯	106	10

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

自動車の登録はお済みですか (移転・変更・抹消)

▶自動車税は、毎年4月1日現在で運輸支局に登録されている名義上の所有者(割賦購入の場合は使用者)に課税されます。

▶例年、「持っていない車の納税通知書が来た」「納税通知書が来ない」など多くのトラブルが発生しています。▶納税通知書が間違いなく届くように、次のような場合は3月31日までに運輸支局で登録手続きを済ませましょう。

- ①住所が変わった②自動車を譲った③廃車した一など

☎県会津地方振興局
県税部 課税第二課
0242(29)5261

放送大学 4月入学生募集

創立30周年を迎えた放送大学では、平成26年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。放送大学はテレビやインターネットを利用して授業を行う通信制の大学です。働きながら学んで大学を卒業したい方、学びを楽しみたい方など、さまざまな目的で幅広い世代、職業の方が学んでいます。

心理学、福祉、経済、歴史、文学、自然科学など幅広い分野を学ぶことができます。

◆15歳以上の方なら、1科目から学習する選科履修生・科目履修生として入学できます。

◆18歳以上の大学入学資格をお持ちの方なら学力試験はなく、全科履修生として入学でき、4年以上在学して124単位以上を修得し卒業すると、学士(教養)の学位を取得できます。

◆出願期間 2月28日まで

※資料を無料で差し上げています。

☎放送大学 福島学習センター

024(921)7471

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附

(ご遺志によるもの)

- 秦 育雄 様(大石田)
- 諏訪 隆 様(浅岐)
- 大竹 勝芳 様(滝谷)
- 齋藤 健一 様(荒屋敷)

12月の納税

納期限 12月25日

- ▶固定資産税 第3期
- ▶国民健康保険税 第5期
- ▶介護保険料 第5期(普通徴収)
- ▶後期高齢者医療保険料 第5期(普通徴収)

忘れずにお納めください。

役場 町民課

町の人口と世帯

11月1日現在

人口	1,869	-3	出生	0
男	900	-1	死亡	6
女	969	-2	転入	5
世帯	836	-3	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。



大谷地区に整備されたLED街路灯

宝くじの助成金で整備 大谷地区にLED街路灯



会津地域 若者サポートステーション

仕事に就くことへの不安などの理由で、社会への第一歩を踏み出せない若者や、その家族の方に気軽に相談いただける就労支援施設です。

現在、パソコンのワード、エクセルの無料講習を行っています。基礎から応用まで社会で役立つスキルを短期間で身につけることができますので、お気軽にご相談ください。

◆対象 15歳~39歳の若者と、その家族

◆場所 ヨークベニマル一箕町店
隣接テナント

(会津若松市一箕町亀賀藤原52)

◆時間 平日10:00~19:00

☎会津地域若者サポートステーション

0242(32)0011

メール info@job-sapo.com

大谷地区は、財団法人自治総合センターが全国自治宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業を利用し、地区内の23カ所にLED街路灯を整備しました。

【購入備品】①照明器具(かさ)23個②自動点滅器23個③LEDランプ23個④防犯灯アーム23本⑤新設防犯灯ポール7本

☎役場 地域政策課
0242(48)5533



© 2010 「最後の忠臣蔵」 製作委員会

映画 最後の忠臣蔵

山びこで上映
入場無料

「私たちが知っている「忠臣蔵」は、
まだ物語の途中だった――。」

12月15日(日)

※2回上映します。

▼午後1時30分／▼午後6時／

会場◎交流センター山びこ イベントホール

◆監督

杉田成道

◆キャスト

- 役所広司
- 佐藤浩市
- 桜庭ななみ
- 山本耕史
- 風吹ジュン
- 田中邦衛
- 伊武雅刀
- 笈田ヨシ
- 安田成美
- 片岡仁左衛門

忠義という名の、美しく気高い愛が、
時代を超えて人々の心を打ち、今も語
り継がれている「忠臣蔵」。大石内蔵
助以下、赤穂浪士四十七士の討ち入り、
切腹というクライマックスは、本当の
結末ではなかった。討ち入り後の使命
を与えられ、名誉の死を許されなかつ
た二人の生き残りがいたのだ――。

子どもが遊べるスペースを準備します。
多くのご来場をお待ちしています。

三島町交流センター

山びこ

☎ (52) 2165

④DVDの上映ですので、
劇場で見る映像より質が劣
りますがご了承ください。

編集後記

▼11月17日、ふくしま駅
伝が開催されました。当
町は合同チームという特
別措置でしたが、平成11
年以来、14年ぶりの参加
でした▼当町と同じく、
「日本で最も美しい村」
連合に加盟する北塩原村
は、同駅伝に単独出場を
果たしました。10年ぶり
ということですが。単独で
は無理という当町の状況
を考えると、チームをま
とめた努力に頭が下がりが
ります。また飯館村も、原
発事故による避難生活が
続く中での単独出場。そ
れを可能にするのは、古
里への強い思いと、心を
つなぐ駅伝への情熱で
しょうか▼当町は多くの
支えを頂いて合同出場し
ましたが、美しい村の仲
間はさらなる努力で希望
を与えました。スポーツ
の力はすごいと、あらた
めて感じました。

■発行 三島町 編集 三島町役場 地域政策課
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下350 ☎0241(48)5533
■ホームページ <http://www.town.mishima.fukushima.jp>
■印刷 北日本印刷株式会社